

会議の概要

令和7年度 第4回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和7年9月10日（水）16:30～17:50

場 所：大玉中学校 被服室他

（ 進行 ： 大玉中学校教頭 阿部 仁 ）

1 開 会

（1）開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんにちは。長い時間にわたりお世話になります。これから令和7年度大玉中学校学校運営協議会（第4回コミュニティ・スクール委員会＜以下CS委員と略記＞）を始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

（2）教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、こんにちは。今日は、お昼過ぎからのオープンスクールに引き続き、学校運営協議会が行われます、長時間に渡りますがどうぞよろしくお願いします。中学校の先生方には、お忙しい中授業提供や研究協議等に真剣に取り組んでいただき、大変嬉しく思うとともに心より感謝申し上げます。

また、ここのところ恒例化してきていますが、中学生にも参加してもらえるようになりありがたいなと思っております。特に今日のテーマを「大玉村のスポーツ・文化・芸術活動を発展させていくためには…」と設定していただきました。これは、中学校にとってだけでなく、大玉村、大玉村教育委員会の課題の一つでもあります。いろんな立場の方々や中学生の皆さんから、フレッシュな感覚で「こういうのがいいな」、「こうだったらいいな」等のアイデアを出していただきたいと思います。

皆さんのご協力をよろしくお願いします。



（3）おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 矢吹 吉信）

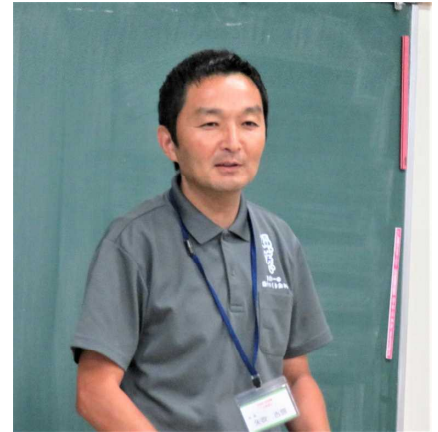
みなさん、改めましてこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。そして、生徒も皆さんには（この会議のために）残っていただきありがとうございます。この後皆さんと楽しい熟議ができるのを嬉しく思っておりますので、もうちょっとお付き合いいただければと思います。

本日は授業をされた先生方、本当にお疲れさまでした。名簿を見させていただいて、授業をされたのは今年度赴任された先生方ばかりだったなと思いました。まだ慣れない中での公開授業ということで、本当にお疲れさまでした。

私は、今日は3年2組の栗野先生の（数学科の）授業を参観させていただきました。私は、中学生の時数学は大の苦手でした。ただ、現在はICTの導入によりゲーム感覚で学びを深める試みもあって、すごくおもしろなと感じました。こんなふうに数学を学べば楽しいのではないかと思い見ていました。でも、できる子とできない子の差はまだあるとも感じました。できる子は早く終わってしまうのですが、できない子はなかなか書けなかったりと…。

授業を見て思い出したのですが、私は、中学生の頃1学期は数学で全く点数がとれなかったのですが、ここにいる（副会長で同級生の）浅和さんと一緒に勉強したり、教えてもらったりして点数が少しずつ上がりました。実際、今日の授業でも友だちと教え合う姿が見られました。3年生は受験を控えています。そういうことを続けていくことによって、個々の点数が上がり、そして全体的に成績が上がるのではないかと思います。先生方は大変だと思いますが、1点でも2点でも子どもたちが点数を上げられるよう努力していただき、大玉中の生徒たちがいい条件で受験を迎えられるようにしていただければと思います。

今日は、生徒の皆さんと「大玉村の文化・スポーツ・芸術を発展させていくためには…」ということで話し合います。皆さんから貴重なご意見をいただきながら、よりよい学校生活ができるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



（４）大玉中学校教職員自己紹介

… 本日参加した大玉中の教職員が自己紹介を行う。

2 協 議

（進 行） それでは協議に移ります。時間は約1時間です。まず初めに、今回の協議のテーマについて校長より説明いたします。

（１）テーマについて （大玉中学校長 久保寺 徹）

改めまして、こんにちは。私の方からは、テーマについてお話しさせていただきます。

今年度の学校運営協議会では「大玉村のスポーツ・文化・芸術活動を発展させていくためには…」というテーマを掲げました。中学校でスポーツ・文化というと、それは部活動につながっています。そして、5年ほど前から文科省やスポーツ庁、文化庁が中学校部活動の地域移行・地域展開を考え、2023年度から今年度までの3年間を改革推進期間としました。

では、部活動の地域移行・地域展開とは何でしょうか。報道では、先生方の働き方改革の一貫だったり、負担減と謳われていることが多いのですが、実際に活動する中学生の立場からも考え、その原因やメリットを4つ程挙げてみたいと思います。

1つ目は少子化による影響です。現在どれくらい中学生が減っているのかご存知でしょうか。

データを調べたところ、福島県の中学生は令和6年度は42,785人でしたが、令和7年度には41,675人と、たった1年間で約1,100人減少していることが分かりました。ただ、大玉中に限って言うと、15年前とほとんど変わってはいません。そういう状況ではあるのですが、今後生徒数が減っていくとどうなるのかなのですが、皆さん想像してみてください。

生徒数が減るということは部員の数も減ることです。各部活動では部員確保のための新入生争奪戦が激しくなります。人員が足りなければ団体の大会に出場できなくなります。そうすると、他校と合同チームを組む必要があります。すでに現在野球部の新チームが合同チームを組んで大会に参加

していますが、それが認められている競技もあるのですが、認められていない競技もあります。もし、学校の枠を取り払って、隣接の本宮市や二本松市の学校からも参加する地域クラブになれば、例えば、大玉中でたった1人になったとしても、周りの中学校から集まってくればチームを作って、大会にも出場でき、競技も続けられるということになります。過去大玉中でもソフトボール部とサッカー部がなくなっています。どちらもやりたい人が減ってしまったのもありますが、同時にクラブチームに人が流れて、学校の部として成り立たなくなってしまったということがありました。

2つ目は多様化への対応です。もともと学校にない競技や文化活動も地域の団体であれば参加することが可能です。例えば、(現在大玉村にはありませんが)地域のダンスチームに参加して大会に出場している中学生もいます。以前は、ほとんどの中学校で部活動は全員参加という原則がありましたが、現在は希望参加になっています。個々のやりたいことが多様化していて、地域にその団体が増えてきているというのが現実です。学校の部活動をやらずに地域のクラブ活動に参加することもOKです。以前は部活動に入らないと高校入試の内申点が大きく下がるのではないかと心配していましたが、それはありません。地域クラブでの活動も実績の一つとなりますので心配はありません。

3つ目は(先生方とも関係があるのですが)、地域クラブで専門の指導者から教えてもらえるということです。学校の部活動では、必ずしも専門的な技術指導をできる先生が顧問になるとは限りません。むしろ専門の先生がいるときはラッキーなのかと思います。また、先生方は数年で転勤してしましますが、地域クラブでは、専門の指導者から継続的に指導を受けられるのが大きなメリットと言えます。

4つ目は地域コミュニティの活性化です。生徒だけではなくて、地域の卒業生が入っていたり、地域住民も活動に参加したりしていて、世代を超えた交流が図られることもメリットの1つと言えます。

さて、ここまで原因やメリットについてお話ししてきました。中学生の皆さんは、今後直接関わる者としてどう感じどう考えるか、大人の皆さんは、地域としてどんなことができそうか等、率直な考えや意見をお出してください。結論がでなくとも構いませんので、積極的に発言をしてくださるようお願いいたします。

(2) グループ協議のすすめ方について (大玉中教頭)

<議題について>

協議テーマ「大玉村のスポーツ・文化・芸術活動を発展させちくには…」について、生徒や教職員、保護者や地域の方々のそれぞれの立場で意見を出し合い、お互いの思いを共有し、今後の学校教育活動の方向性を探る。

- ① 活動しやすい内容・時間・場所などの視点から
- ② 幼小中の連携の視点から
- ③ 家庭や地域との連携の視点から
- ④ 施設や設備から

※ 事前アンケートの結果の説明

- 本校の部活動の所属の割合

所属 93% 地域クラブ等 7%

- 中学校の部活動で自分でできているか

そう思う 75% * 25%の生徒は他のことをやりたいと思っている → 多様化

- 現在、部活動以外でスポーツ・文化・芸術活動に取り組んでいるか



取り組んでいる 33% → その中で…

・村内で活動している	41%
・隣接市で活動	29%
・それ以外	30%

○ 中学校の部活動がなくなってしまった場合、今行っているスポーツ・文化・芸術活動を続けたいと思うか

続けたい 64% 違うことに挑戦 18%

○ テーマ「大玉村のスポーツ・文化・芸術活動を発展させていくためには…」について選択肢をつくり複数回答を求めた。(多い順に列記すると)

- ① 施設や設備の充実 ② 活動時間 ③ 活動場所 ④ 専門的な指導・連携
⑤ その他

- ・いろいろな部活を増やしてほしい ・体育館や武道館にクーラーをつけほしい
- ・地域のイベント時に部活として参加したい ・人を増やしたい(減ると部活がなくなる)
- ・自分がやりたい部活ができるように環境を整えてほしい
- ・高め合う関係、仲間意識

<協議の進め方>

ア 進行役を中心に、テーマに対して考えを出し合う。

- ・ 子どもたちの意見 (黄付箋紙)
 - ・ 地域・家庭 (保護者) の意見 (ピンク付箋紙)
 - ・ 学校の意見 (青付箋紙)
- をそれぞれ書き出す。

イ KJ法でそれぞれの考えを共有し、共通している内容についてさらに考えを深める。

(3) グループ協議



(4) 全体共有 ～各班の代表者による発表～

(進行) グループ協議ありがとうございました。これから共有に移ります。一班2分弱ぐらいで発表していただければと思います。では、1班からお願いします。

< 1 班 >

○ 生徒の考え(野球部所属)

- ・ 野球のプレーを全力で行いたい。(校庭の広さの関係で) バッティングで力ををセーブしてしているので…。
- ・ 大玉ドームをつくる → 場所はスマート I C 付近。野球、大相撲の巡業、演奏会等多用途に使う。収益にもつながる。
- ・ 野球教室を開けるよう指導者を確保する。(人口の増加)

○ 初心者と経験者の差を埋めるために

→ スポ少や部活動などで、地域の方が初心者にとっても指導できる機会をつくる。

○ スポーツ等にかかるコストが高く、するのを諦めてしまう子もいる。

→ 地域から資金を募ったり、クラウドファンディングをしたりして、そのスポーツをやりたい子どもたちを全力で応援したらどうだろうか。



以上のことに取り組むことにより、最終的に大玉村が発展していく…

< 2 班 >

○ 多様化への対応が必要 = 「いろんなスポーツに取り組みたい！」という生徒への対応

○ 小さい頃から自分の好きなことを伸ばしていく。いろんな活動に参加しながら、自分に合ったものを見つけていく努力が必要

○ 施設・設備の面から

- ・ 体育館等にエアコンが必要 … クラウドファンディングをする、スポンサーを募る等

○ 指導者について

- ・ 専門的な指導者を確保する。地域の中で声かけをする。
- ・ スポ少から継続して指導
- ・ 学校から地域に発信し募集する。
- ・ 部活動と地域の交流があると、より活性化するのではないかな。

○ 生徒の体験の重視 = 想像力(多様性)を培うために大切

- ・ 子どもたちが自分たちでできることを実践する。リーダーシップ、想像力を伸ばしていく。

< 3 班 >

○ 活動しやすい内容・時間・場所など

- ・ 学校や村からの援助・補助等(大会や遠征について)

○ 家庭・地域との連携

- ・ 地域クラブの交流試合
- ・ 部活動の練習に地域の方に参加・指導していただく。
- ・ 福島大学と連携し、大学生に指導に来ていただく。



○ 施設・設備

- ・ 競技場で部活動をしたい。 ・ 体育館や武道館にエアコンがほしい。

○ その他

- ・ 中体連の大会について村民に周知する。情報発信がさらに必要
- ・ 現在ある部活動だけでなく、他にやりたい競技等があるならば愛好会という形で活動するのもいいのではないか。

< 4 班 >

- 生徒一人一人の熱意の差が大きく、楽しみたいという人がいれば、勝ちたいという人もいて、そこで部活動をやめてしまう子がわずかながらいるのが現状。そこを上手くできないだろうか。
- 他の班からも出たが、体育館にエアコンを入れてほしい。
- 吹奏楽部のこと … 自分に合った楽器を選べる機会があるといい。
- 指導者について
 - ・ 人材活用の観点から → まとめ役があつてそこから指導者を派遣する仕組みができるといい。
 - ・ 専門的な指導ができる人が来てくれるといい。
- 大玉中では来年の1年生から制服が変更になるので、コンクールでステージに上がる際の部としての衣装（制服）がほしい。
- 地域との連携
 - ・ 幼稚園生、小学生に早くから部活動について知ってもらいたい。運動部なら一緒に活動するとか、また、吹奏楽部なら出張演奏したりするとかすると、地域との関わりも深くなるのではないかな。



< 5 班 >

- 活動場所は中学校が一番やりやすい。ただ、体育館の場合ステージが限られているので工夫が必要。
- 小学生や地域のスポ少との関わりを1ヶ月に1回はもつようにする。中学校に入学して部活動をするときに入りやすくなるのではないかな。
- 大会やコンクール、練習試合の際、各家庭の都合があつて送迎が難しい場合があるので、そんなときは地域の手助けがあるとありがたい。
- 夏の体育館はとても暑くなるので、クーラーの設置が必要。指導者への謝礼もほしい。



< 6 班 >

- 部活動の時間や対応は今のままで十分だが、一番の望みは施設の充実。
- 今年の夏は暑くて活動している時間より休んでいる時間が多かった。体調を崩してしまう子もいたので、エアコンを早急に準備していただきたい。
- SNSで「吹奏楽部等が地域の行事に積極的に参加していて素晴らしい」というコメントが見受けられる。今後の取り組みを見据えて、楽器を運ぶ専用の車（トラック等）がほしい。
- 小さい頃から音楽にふれることは大事である。小・中学校、村としての取り組みを世代を超えてやっていくと地域連携につながっていくのではないかな。

< 7 班 >

- 施設、設備に関してはお金をかけてでも整えてもらいたい。総合運動施設のようなスポーツパークがあると活用しやすい。(事故防止を考慮し中学校近辺に)
- 部活動の指導者について
 - ・ 中学校がやってほしい部活の内容と地域の方々がやりたい内容との違いがあつて、どうやって決めたらいいか考えてしまうことがあつた。
- 連携の観点から
 - ・ 親子の思いの違いだったり、指導者と先生のやりたい内容の差だったり、親が求めるものと指導者の求めるものとの差だったり、思いを述べ合う場が必要ではないか。保護者会がある場合はいいが、ない場合は組み合わせを確保するなどして話し合う場を設定する。地域の方の協力を求める場や先生方が本音を言える場があるといい。とにかくできそうなことからスタートしたらいいのではないか。
 - ・ イベント活動に参加していく (小中連携)
- 部活動もその他の活動もせず、何もしていない子が心配。家に早く帰ってゲーム漬けになっているのであれば、むしろ部活動に入っていた方がいいのではないか。
- 子どもたちが、自分の意見を言える場をつくる → 案内板のような形も一つの方法



< 8 班 >

- 班の中学生の話から話題を取り上げようとしたが、入っているバスケ部の活動が充実しているようで悩みはないとのことだった。
- ・ 指導員の方 … 来れない日もあるが、たいていは活動に来てくれている
- 敢えて課題を挙げるとすると…
 - ・ エアコンがほしい
 - ・ もっと長く活動したい
 - ・ 学校でちょっとした日程の変更がある場合、それに合わせて指導員の方に来ていただけるよう時間を調整するのは難しい。
- 地域移行について
 - ・ 地域を発展させていこうとする意識改革が必要ではないか。



< 9 班 >

- 1～8班の発表と重なる点が多い。
- これまで出された意見が一つでも多く実現できるようにしたい。そのためにも、幅広い取り組みが必要である。
- 今後は情報発信が大切になってくる。

3 閉 会

(1) 講 評

(おおたま学園CS委員会会長)

みなさん、長時間にわたりありがとうございました。講評とありますが、いつも申し上げておりますが、お礼でございます。特に大玉中学校の生徒の皆さん、今日は遅い時間まで貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

今武田先生からもありましたが、一つでも多くできることから実現したいと思っています。お金がかかるようなこともありましたが、それについては、今後村当局や教育長等とお話をしていきます。また、今日の話し合いだけで終わらせないためにも、一度スポ少の指導者、中学校の部活動の顧問の先生、保護者会会長や、今日集まっていた関係者の方々に集まっていただいて、意見を出し合う機会をつくりたいと思っています。何か一つでもいいので、「この前の集まりで前に進んだよね。」と言われるようにしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

今日は長時間ありがとうございました。

(2) 御礼のことば

(大玉中学校長)

今日は、遅い時間までCS委員の皆さん、そして中学生の皆さん本当にありがとうございました。

ここまでいろんな意見が出ておりますので、ぜひ今後の学校の教育活動や村のコミュニティの活性化の推進というところで生かしていければと思います。

私が個人的に思うことなのですが、スポーツ・文化・芸術活動は、生きるために必要かと言われると、別になくても生きていけるんですよね。けれども、よりよい生活、豊かな生活、心、たくましい身体プラスαの部分を追いかけることで、大玉中学校及び大玉村がもっともっと素晴らしいものになっていくのではないかと思います。だから、生きるためだけではなくて、プラスαを求めていける集団であってほしいと感じました。お金がかかることもたくさんありますが…。

今後とも中学生を支えてくださるようお願いいたします。本日はありがとうございました。



(3) 諸連絡

(大玉中学校教頭)

- ・ 本日のアンケートの記入・提出について … 記入後机上にあげておいていただきたい。

(4) 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 館下 愛理)

今日は授業参観から長い時間ありがとうございました。これで、令和7年度大玉中学校学校運営協議会並びに第4回おおたま学園CS委員会を終わります。ありがとうございました。